

# 文化通信

ジャーナル

2016

8

インタビュー 多田 憲之 東映株式会社  
代表取締役社長

## 固定した観念を 取っ払うことが必要



インタビュー

小坂 恵一 (株)スター・チャンネル  
代表取締役社長

小澤 浩子 (株)スター・チャンネル  
代表取締役副社長 チーフ・マーケティング・オフィサー



新社長インタビュー

荒波 修 (株)GYAO  
代表取締役社長



インタビュー ネットシネマ・ゴールデンエッグ

大和田 廣樹 ブロードバンドタワー  
取締役副会長

櫻井 一葉 フレッシュハーツ  
代表取締役社長



664



フレッシュハーツ代表取締役社長 櫻井一葉  
ブロードバンドタワー取締役副会長 大和田廣樹  
13年振りの復活企画「ネットシネマ・ゴールデンエッグ」  
若手俳優活動の場として展開

**櫻井一葉 略歴**  
68年生まれ。99年、映画「9-NINE」で初プロデュース。03～08年、日本初のネットシネマの企画制作プロデューサーとして立ち上げより参画。そのほか、15年「クロスロード-CROSSROADS-」、13年「テコンドー魂」、11年「明日に架かる愛」など数多くの映画、ドラマ作品などを手掛ける。

**大和田廣樹 略歴**  
63年生まれ。IT業界で活躍するかたわら、映画やドラマなどのプロデュース業も行う。03年、日本で初めてネットシネマをスタート。「探偵事務所5」シリーズなど数多くのネットシネマを世に送り出す。そのほか、08年「ぐるりのこと」、09年「THE CODE/暗号」、09年「GOEMON」、14年「南風」、16年「ディストラクション・ベイビーズ」など。

従来の「ネットシネマ」とは何か

データセンター事業の草分け的存在として知られる(株)ブロードバンドタワー(以下・BBT)と映画・TVドラマの制作会社(株)フレッシュハーツは、新しい才能の発見・育成を目的としたインターネット配信番組「ネットシネマ・ゴールデンエッグ」を、7月から開始した。同番組の中心を担うのは、「ネットシネマ」の創生期から長く関わってきた大和田廣樹BBT取締役副会長と櫻井一葉代表取締役社長の2氏。13年振りの「ネットシネマ復活」を標榜する2氏に話を聞いた。



↑探偵事務所5

新企画で新しい才能の発見育成

16年7月、BBT運営の動画配信サービス「アンカーパーソン・TV」(以下・アンパカ・TV)内のチャンネル「ネットシネマ」が本格始動した。大和田氏は、「他社の配信サービスとの差別化を図るために、私の特徴とも言えるネットシネマを強化していく」との意向を固め、櫻井氏に、「ネットシネマ復活」の話を打ちかけるに至る。

た。

櫻井氏は、「当時のネットシネマは、予算も限られていたため、多くの若手俳優に出演機会がありました。若手俳優が出演機会を求めているのは、現在も当時と変わりません。プロダクションの俳優の売り出し方法は主にワークショップで、監督や演出家に講師として来て頂き、出演機会を待つなどなかなか若手俳優が出演できない状況が続いています。そんな中、大和田さんから、「ネットシネマ復活」のお話を伺い、若手俳優の活躍の場を作りたいと思いました」と熱く話す。



→原宿竹下通りスタジオを  
活用する若手俳優たち

7月より開始された新企画「ネットシネマ・ゴールデンエッグ」は、JR原宿駅の竹下通り口に設立された、BBT運営の「アンパカ・TV」(以下・

原宿竹下通りスタジオ)で俳優・タレント・モデル・アーティストなどでチーム編成される8チームが、インターネットならではの個性溢れる内容で自己PRの場として原宿竹下通りスタジオを活用し、週に一度配信。

また、配信とは別に、新しい才能の発見・育成を目的として、低予算ながら個性あるネットシネマ(15分)の映像作品を各チームで制作、16年11月下旬に、渋谷ユーロスペースにおいて、1週間限定レイトショー上映で競い合うイベントを開催する。

大和田氏は製作総指揮、企画・運営統括はフレッシュハーツが担う。「大和田さんには、若手俳優の出口を新たに用意して頂いたと思います」(櫻井氏)。

自主性を尊重して制作、劇場公開も

すでに、「ネットシネマ・ゴールデンエッグ」では、フレッシュハーツからのオファーに応じた参加プロダクション8社が、7月11日より配信を開始。原宿竹下通りスタジオから、プロダクション社長を筆頭に、マネージャー、俳優自らが機材や設備と奮闘しながら、疑似生放送配信をしている。「今は、ユーザーなど誰でもどこでも自己

PRができる時代です。ただ、第一線での活躍をこころざす彼ら、若手俳優にはスタジオという環境で、10時間以上、疑似生放送の番組制作を行うことで、色々と勉強してもらいたい」(大和田氏)。配信開始直後には、企業PRのポータルサイト「ドリームニュース」内でアクセスランキング1位に輝くなどの注目を集めている。

ユーロスペースの1週間限定レイトショー上映後、映画監督、プロデューサー、文化人などが最優秀作品賞、最優秀俳優賞を決定し、その後、選出作品はアンパカ・TV内のチャンネル「ネットシネマ」でロングラン配信を予定している。

「ネットシネマ・ゴールデンエッグ」では、若手俳優の自主性を尊重する。資金集めは、チームで異なり、櫻井氏によれば、「クラウドファンディングやプロダクトプレイズメントなど形は自由です」との方針。劇場公開までは、チャンネル「ネットシネマ」を用いながら、若手俳優がアイデアを出し合うことで宣伝の方向性を決めていく。公開時にはチーム日替わりで舞台挨拶が行われるが、ここでも自己PR力が求められる。

**ネットシネマ・ゴールデンエッグ概要**

- 製作総指揮：大和田廣樹
- 企画・運営統括：フレッシュハーツ
- 制作：ブロードバンドタワー
- 運営協力：
  - ・アミティープロモーション
  - ・オフィスMORIMOTO
  - ・クリアード
  - ・ジーンプロジェクト
  - ・ジャスティスジャパンエンターテインメント
  - ・ハビッツ・サードポジション
  - ・リヴィールエンタテインメント
  - ・リガメント (五十音順)
- 配信：
  - ・BBT運営のアンカーパーソン・TV (http://www.anpaca.tv)